

# 「トークイベントにおける場の緩やかな拡張の試み」

神道朝子

イベントの会場付近を偶然通りかかる人も自分で周波数を合わせてラジオを聴くという参加方法を提案。トークする人も会場内にいる人だけではなく、身体的に近くにいるという巡り合わせの気配だけを感じる観客を想像しながら会を進めるという経験をとおして、視界に入らない人やコトへの想像力やケアを実践することができるのではないだろうか。

イメージ・ストーリー

What's going on inside?  
なんかやってるみたいだね。



Seems like a talk event...  
トークイベントかな。気になるね。

There's a sign saying "724kHz"  
And a radio here, let's see how it goes!  
周波数が書いてあるよ。そしてラジオもある  
ね。合わせてみようか！という参加方法

参加アーティスト: 毛原大樹 (けはら ひろき、1982年 - )

ラジオ・アーティスト、造形作家。東京芸術大学大学院修了。別名コジマ ラジオとしても知られる。微弱な電波を利用したラジオ・テレビ放送を介して生まれる、あらゆる「関係性」をテーマに、プロジェクト形式の活動(「町中アート大学」、「最後のテレビ」など)や、作品を制作。